

## 第7回産業建設常任委員会 要点記録

開閉会日時	平成30年9月13日(木曜日)			開会	9:59	会議場所	別海町議会 委員会室3		
				閉会	12:10				
委員の出欠	2 番	外山 浩司	出席	9 番	沓澤 昌廣	出席	11 番	瀧川 榮子	出席
	14 番	渡邊 政吉	出席	15 番	佐藤 初雄	出席			
出席説明員	産業振興部長	登藤 和哉	建設水道部長	山岸 英一	産業振興部次長	門脇 芳則			
	建設水道部次長	小島 実	農政課長	小野 武史	水産みどり課長	新堀 光行			
	商工観光課長	伊藤 輝幸	管理課長	伊藤 一成	事業課長	小島 実			
	上下水道課長	外石 昭博	水産みどり課主幹	大坂 恒夫	商工観光課主幹	池田 卓也			
	事業課主幹	袴田 充輝	上下水道課主幹	椋木 直人	水産みどり課主査	清原 裕介			
	商工観光課主査	堀込 美穂	管理課主査	前道 陽司	管理課主査	伊藤 武史			
	建築住宅課主査	入田 浩明	建築住宅課主査	篠田 敬介	事業課主査	福原 仁史			
	事業課主査	佐竹 和仁	上下水道課主査	植松 拓也					
委員外の出席					傍聴者	1名			
事務局職員	事務局長	浦山 吉人	主幹	松本 博史					

### 会議に付した事件及び会議結果など

発言者	会議経過
委員長 9番 沓澤	9:59 開会 開催概要説明 出席委員5名、欠席委員0名
委員長 9番 沓澤	開会あいさつ ・長期停電を振り返って 【産業振興部提出議案調査ほか】
産業振興部長 登藤	挨拶及び概要説明
委員長 9番 沓澤	議事1 提出議案調査について (1)平成30年度別海町一般会計補正予算について 農政課所管分補正予算内容説明（ミルクローリー車導入事業ほか） 質疑
農政課長 小野	
委員長 9番 沓澤	
副委員長 14番 渡邊	ミルクローリーの入替は、計画的な更新であるのか。
農政課長 小野	15年程度で入れ替えしている。農協からの要請により行っているが、町としても計画的に取り組みたい。
産業振興部次長 門脇	今回は、10トン級を15トン級に入れ替えるものであり、効率化を目的としている。防衛事業を使うことができないが、更新が必要と判断した。
副委員長 14番 渡邊	農家の現場において、ミルクローリー車が大きいため庭先で事故があったり、車の切り返しができずバックする運転をせざるをえない現場が半分くらいある。このような現場の整備も計画の中で検討できないか一度調べてほしい。
委員 15番 佐藤	冬の集荷も大変なので、中山間事業も含めて対応が必要と考える。
産業振興部次長 門脇	何軒か不都合があると聞いている。中山間事業で集乳車の入口の整備を助成していると聞いているので、今後検討していきたい。
副委員長 14番 渡邊	牛舎の周囲も狭いが、国道から農家に入る箇所は、農免から農家に入る取り付けの半分くらいの幅しかないため、車を路肩に落とすことがある。
産業振興部長 登藤	公共団体としては、個別の対応が難しい。町は、町道の対応をしている。国道については、国交省の管理だが、農協に言って道路占用許可をとって拡幅は可能と認識している。
水産みどり課長 新堀	水産みどり課所管分補正予算内容説明（森林経営管理制度推進事業） 質疑
委員長 9番 沓澤	
委員 11番 瀧川	726人もの所有者がある範囲の管理は、大変であるが委託先は。

## 第7回産業建設常任委員会 要点記録

産業振興部次長	門脇	<p>現場に詳しいのは、森林組合しかないが、新たな事業者が存在する可能性もあるので、財政課と協議して委託先を決めたい。</p> <p>経費は、受益者も負担するのか。</p> <p>来年度以降、国で（仮称）森林環境税を賦課していくにあたり、今回の意向調査を行うことで、どれくらいの事業量になるかわかってくる。別海町は、540万円から1,830万円まで積み上がる。負担割合は、市町村8割、都道府県2割となっている。</p> <p>説明のあった調査対象件数とは。</p> <p>林少班のことである。</p> <p>林少班とは、森林を地番で管理する単位と考えていただくと判りやすい。726人の所有者とは。</p> <p>北海道から提供されているデータの内容によるものであるが、町内の私有林のうち除伐、間伐が行われていない箇所、また、最後の除伐から10年、間伐から15年経過している箇所の所有者を対象としている。</p> <p>北海道からのデータは古いので、所有者が不明の箇所もあり、今年度の調査は事前調査となる。経営が成り立たない箇所を、税を使って町が管理していくというのが事業の目的である。</p> <p>私有林を持っていてもさっぱり管理していない人もいる。事業の性質を知りたい。</p> <p>今回、議員提出されている意見書のとおり、森林の成長産業化が目的である。これまで手が加えられなかった森林に手を加えることで、木材資源の産業活用を図るものである。</p>
委員	15番 佐藤	
水産みどり課長	新堀	
副委員長	14番 渡邊	
水産みどり課長	新堀	
産業振興部長	登藤	
副委員長	14番 渡邊	
水産みどり課長	新堀	
産業振興部次長	門脇	
副委員長	14番 渡邊	
産業振興部長	登藤	
委員長	9番 沓澤	
商工観光課長	伊藤	
委員長	9番 沓澤	
副委員長	14番 渡邊	
商工観光課長	伊藤	

### 議事2 その他

#### (1)ふるさと交流館の整備状況について

##### 内容説明

##### ・3年間の補修実績について

##### ①平成28年度補修実績

保全計画に基づく浴室改修及び予期しない故障の対応

合計130,799,680円

##### ②平成29年度補修実績

電気設備、重油ボイラー修繕等保全計画に基づく回収及び予期しない故障の対応

合計3,653,640円

##### ③平成30年度補修実績

重油ボイラーの更新、屋上及び屋根の防水等保全計画に基づく改修及び予期しない故障の対応

年度途中であるため、金額は未確定。

##### 質疑

現在の管理体制になったとき、大家である町は、補修については大きな規模のものを手掛けるということになっている。補修に至る流れを確認したい。管理者は、町に故障を申し出て、町がチェックし、内容を精査してから町による補修の是非を判断するという流れであると理解してよいか。

日常的な修繕と保全計画に基づく修繕と分けて説明させていただく。日常的な修繕は、10万円を目途としている。10万円を超えると町と協議し、調整をして対応している。保全計画に基づくものは、喫緊に必要な修繕であるか精査して対応している。

## 第7回産業建設常任委員会 要点記録

副委員長 14番 渡邊	<p>28年度の大型改修をしたときに現場を確認したが、まだまだ修繕が必要な箇所があった。サッシの縁のコンクリートが欠けているなど。保全計画の見直しというのは考えられているのか。</p> <p>現計画は、平成35年度までの計画となっているが、見直しの予定はない。ポンプ修繕のその後の経過はどのような状況か。また、かつて木嶋議員の一般質問に対して、町長が地元業者に配慮する旨の答弁があったが、その点はいかがか。</p> <p>ポンプについては、砂がかむという現象が起こり交換を行った。停電後、今は一番良い状態で汲み上げができています。大規模改修、例えば部屋数の変更などを現在考えてはいないが、今後も地元商工業者と協議が必要であると考えている。</p> <p>確認であるが、町長は、大規模改修が必要であると答えていたが、場合によっては、という認識である。町長は、当時、合宿誘致及び他の事業者とのバランスを考えて発言しており、財源の問題は非常に大きいと考える。今後、多額な財源を投入するのであれば、交流館をやめるべきという意見も地域にあるのだが、いまの部長の答弁のとおり町の考え方を押さえておけばよいということでしょうか。</p> <p>交流館の投資については、7次の総合計画に載せていかなければならない。観光の側面があるので、いろいろな関係者と意見交換をしていきたい。</p> <p>ふるさと交流館になる以前、町外業者に業務が流れていた。町内の業者でできない工事などはあるのか。</p> <p>現在行っている工事の大半は、地元業者に発注している。エレベーターに関する施工など、どうしても町外業者に発注せざるをえないケースもある。</p> <p>(2)産業の動向について 資料に基づき内容説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生乳の動向及び乳代</li> <li>・農作物の生育状況</li> <li>・家畜市場の取引状況</li> <li>・魚種別水揚げ状況</li> <li>・イベント実績表</li> <li>・商工観光課所管施設利用状況</li> </ul> <p>質疑</p> <p>平成20年度から21年度にかけてのふるさと交流館の入浴者減の原因は。丁度、ふるさと交流館同様の施設が近隣にオープンした時期であったのが大きな原因と考えられる。</p> <p>(3)胆振東部地震による停電災害について 内容説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・森永、明治、雪印各工場、べつかい乳業興社との連携対応</li> <li>・生乳の廃棄等、物資購買等に関する農協との情報共有、現場確認</li> <li>・漁の停船対応、水産物保管施設、副産物再資源化施設等の状況確認</li> <li>・野付半島における水道の状況確認、水道水運搬の職員対応</li> <li>・宿泊施設に対する発電機の設置、水道水の運搬対応</li> <li>・観光施設の現場対応状況</li> <li>・町内商店の食糧、生活物資に係る不足状況確認の職員対応</li> </ul> <p>質疑</p>
商工観光課長 伊藤	
委員 2番 外山	
商工観光課長 伊藤	
副委員長 14番 渡邊	
産業振興部長 登藤	
副委員長 14番 渡邊	
産業振興部長 登藤	
委員 11番 瀧川	
商工観光課長 伊藤	
委員長 9番 沓澤	
産業振興部長 登藤	
委員長 9番 沓澤	
委員 2番 外山	
産業振興部長 登藤	
委員長 9番 沓澤	
産業振興部長 登藤	
委員長 9番 沓澤	

## 第7回産業建設常任委員会 要点記録

委員	15番	佐藤	<p>職員の努力に感謝。今後、全町的な危機管理体制を改めて確認してほしい。</p> <p>発電機については、1台の発電機を自助、共助の精神で共有する助け合いが地域で見られた。この精神を今後生かしていきたい。大規模農家において、一般的な規模の発電機では対応できない。関係機関と問題を洗い出したい。集荷の対応について、問い合わせをしても埒があかないことがあった。農協は、昨日あたり役員が集まって今後の対応を話している。しかし、今朝聞いても課題の把握ができていないようだ。1週間経つのに対応が遅れていると感じる。所管としては、どのように把握しているのか。情報を把握したら、町としても情報を出してほしい。</p> <p>昨日時点での被害状況を説明する。生乳の廃棄については、JA道東あさひが2,100トン、JA中春別で960トン、中標津町の組合員を含むがJA計根別で630トン。合計3,600トンの廃棄。現在も乳房炎の対応などにより廃棄が続いている。各JAの組合員の発電機設置割合は、JA道東あさひが41%、JA中春別が50%、別海町の組合員に限ってのJA計根別が18%強。別海町の組合員全体で4割程度の設置状況。</p> <p>(6)その他 産業祭開催に係る内容説明</p> <p>11:20 休けい</p> <p>11:28 再開</p> <p>【建設水道部提出議案調査ほか】 挨拶及び概要説明</p> <p>議事1 提出議案調査について</p> <p>(1)平成30年度別海町一般会計補正予算について 建設水道部所管分補正予算内容説明（合併処理浄化槽設置整備事業ほか） 質疑 合併処理浄化槽の設置状況は。 （計画件数、設置件数、計画達成状況を詳細に説明）</p> <p>(2)平成30年度別海町水道事業会計補正予算について 補正予算内容説明 質疑 無線伝送装置とはどのようなものか。 水道管理センターを拠点に無線により水道施設を制御するための装置である。 資本的収入の支出が一般会計扱いとなっているが。 事業の支出は一般会計、収入は水道事業会計となっている。 無線伝送システムについては、法改正があったという説明であったが。 電波法の改正により、今ある施設は、平成34年11月31日までに更新を行う必要がある。施設整備は21年前であり、今後20年くらいの使用を見込み、更新していく考え。</p> <p>(3)工事請負契約の締結について 質疑なし</p> <p>議事2 その他</p> <p>(4)建設工事等発注状況について 資料に基づき内容説明</p>
産業振興部長		登藤	
副委員長	14番	渡邊	
農政課長		小野	
委員長	9番	沓澤	
産業振興部長		登藤	
委員長	9番	沓澤	
建設水道部長		山岸	
委員長	9番	沓澤	
管理課長		伊藤	
委員長	9番	沓澤	
副委員長	14番	渡邊	
上下水道課長		外石	
委員長	9番	沓澤	
上下水道課長		外石	
委員長	9番	沓澤	
委員	11番	瀧川	
上下水道課長		外石	
副委員長	14番	渡邊	
上下水道課長		外石	
委員	2番	外山	
上下水道課長		外石	
委員長	9番	沓澤	
管理課長		伊藤	

## 第7回産業建設常任委員会 要点記録

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度建設工事等発注一覧（工事）</li> <li>・平成30年度建設工事等発注一覧（委託）</li> <li>・平成30年度下水道事業建設工事等発注一覧</li> <li>・平成30年度水道事業工事等発注一覧</li> </ul> <p>本年度の予定案件は、8割発注済みである。</p>
委員長 9番 沓澤	質疑なし
管理課長 伊藤	(4)胆振東部地震による停電災害について 資料に基づき内容説明
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水道施設の対応状況</li> <li>・下水道施設の対応状況（特定環境保全公共下水道、農業集落排水施設、漁業集落排水施設）</li> <li>・断水誤情報に対するSNSでの周知対応</li> <li>・施設間の燃料の移送による対応 ほか</li> </ul>
委員長 9番 沓澤	質疑
副委員長 14番 渡邊	別海町の水道は非常に評価が高い。自然流下だから対応が必要ないと思っていた。誤解であった。
上下水道課長 外石	浄水場においては、薬注ポンプを電気で作動させるなど、電源が必要となる。
委員長 9番 沓澤	(6)その他
建設水道部長 山岸	北電の節電要求に対する建設水道部の対応について内容説明
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公営住宅の駐車場照明の節電</li> <li>・町道の街路灯の節電</li> </ul> <p>以上について利用者の支障のない範囲で対応する。</p>
委員長 9番 沓澤	質疑なし
委員長 9番 沓澤	閉会あいさつ
	停電対応について、断水がなく助けられた。職員のご苦勞に大変感謝している。
	11:45 休けい
委員長 9番 沓澤	11:48 再開
	(5)特定事件（所管事務）の継続調査について
自由討議	討議結果
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・所管事務調査及び調査時期は、前回委員会決定により以下のとおりとし、調査の論点を以下のとおりとする。</li> <li>①バイオガスプラントの現状について 経営改善計画の内容の確認。特に全員協議会から求めのあった、過大となっている支出の内訳、平成30年度の調査時点での計画値との比較等を調査。また、サテライト計画の実現性や問題改善効果を確認。 10月上旬に調査する。</li> <li>②体験型観光について 野付半島周辺の体験観光の状況について現地調査を行う。トイレの修繕状況についても確認する。 11月中旬に調査する。</li> <li>③固定栈橋の整備状況について 風連湖の固定栈橋の現地調査を行う。 11月中旬に調査する。</li> <li>④道路の整備状況について 上記②、③の現地調査と併せて、本年度実施の道路整備状況を確認</li> </ul>

## 第7回産業建設常任委員会 要点記録

	<p style="text-align: center;">認する。 11月中旬に調査する。</p>
委員長 9番 沓澤	(6)その他
委員 2番 外山	議会だより11月号掲載予定の委員会報告の原稿について協議したい。
自由討議	討議結果
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見出しを「バイオガス発電施設継続調査」とする。</li> <li>・中村議員の一般質問の質疑とすべてが重複しないよう調製する。</li> <li>・一般質問では明らかになっていない委員会質疑の経過や継続調査に向けた論点などに触れる。</li> </ul>
委員長 9番 沓澤	12:10 開会